

# 尾道文学 談話会 会報

尾道市立大学

芸術文化学部日本文学科

第  
八  
号



目次

北條霞亭の尾道詩

森岡 久元

1

橋本竹下『竹下詩鈔』の序文、跋文について

鷹橋 明久

21

永井荷風『断腸亭日乗』管見

―昭和二十年夏、岡山の八十日―(上)

寺杣 雅人

39

林芙美子の「鶴の笛」を読む

柴 市郎

51

大林宣彦監督作品『ふたり』採録シナリオ(二)

尾道市立大学日本文学科柴研究室内  
大林宣彦映画研究会

柴 市郎 野口 智世 福圓 岬  
今吉 勇貴 國本 芙花 荒木 鈴菜  
戎 ひなた 志茂 あおい 多田 琴音

65

続『百人一首図絵』を読む

平成二十九年度

日本文学科ワールドワーク成果報告

白樺の木の下で

平成二十九年度尾道文学談話会テーマ一覧

『尾道文学談話会会報』目次一覧 創刊号〜第7号

『ロビンソン・クルーソー』とイギリス帝国

江戸川乱歩「心理試験」の心理学

尼崎こころ 小松 春菜  
財津 奈々 藤川 功和 田口智恵美

光原 百合 藤本真理子

105

石岡 孝善 内海 昌子 亀田 芳子  
北浦 一馬 白井 孝治 花田智佳子  
古澤 和子

113

林 直樹

(1)

塚本 真紀

(23)

本誌『尾道文学談話会会報』掲載論文等は、広島県大学共同リポジトリ(略称HARP)によってインターネットでもご覧いただけます。(http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/)

## 編集後記

『尾道文学談話会会報』第八号をお届けします。

今号には、鷹橋明久准教授、柴市郎教授、大林宣彦映画研究会（柴研究室）、藤川功和教授、光原百合教授・藤本真理子講師、塚本真紀教授、そのほかに寺杣雅人名誉教授、経済情報学部から林直樹准教授、昨年度談話会講師で本学非常勤講師の森岡久元氏による九編を収めております。

参加者による「白樺の木の下で」には石岡孝善氏、内海昌子氏、亀田芳子氏、北浦一馬氏、白井孝治氏、花田智佳子氏、古澤和子氏の御寄稿がありました。地域の方々の豊かな交流に支えられた談話会ならではの成果と言えましょう。なお、このデータ作業の一部は、藤井研究室所属三年生の岡村花、河野菜穂、近藤千聖も担当しました。

さて、談話会は平成二十一年度の日本文学科主催としてはじまった当初より尾道市立大学美術館（旧・白樺美術館）を会場としてまいりましたが、今年度から商店街の本学サテライトスタジオでの開催となりました。毎月第一月曜日の開催としておりますが、会場と講師の都合で別の曜日に移ることもあるため、お手数ですが事前に本学・地域総合センター（Ⅷ、〇八四八～二二二）

八三一）へ御確認願います。

日本文学科は引き続き地域貢献を含め、ささやかな研究成果、専門性の社会還元に結びつくこのような機会を大切にしながら、一層皆様と楽しい時を共有できればと思っております。どうぞ今後ともよろしく御理解と御協力をいただけますようお願い申し上げます。

（平山 直樹 藤井 佐美）

## 尾道文学談話会会報 第八号

二〇一八年二月四日 印刷

二〇一八年二月四日 発行

発行者 尾道市立大学芸術文化学部日本文学科

印刷所 三原プリント株式会社

三原市和田一丁目五一二三

電話（〇八四八）六四一―六四三

発行所 尾道市立大学芸術文化学部日本文学科

尾道市久山町一六〇〇―二

電話（〇八四八）二二一八三一

表紙デザイン

尾道市立大学美術研究科美術専攻

長谷川 さや（はせがわ さや）



2018年2月4日 ISSN 2185-2456